



# 探究ニュース ACCESS 4号

平成30年11月14日 東京都立八王子東探究部

## ◇「人間と社会」課題解決プロジェクトのご紹介（上）◇

43期「人間と社会」は、2学期から「課題解決プロジェクト」を開始しております。

課題解決プロジェクトとは、

- ・企業・大学・研究機関・地域と継続的に連携し、
- ・(主に)生徒同士のグループの枠組みで、
- ・主体的に課題の発見・調査・解決策の提案を行っていくプロジェクトです。分野の異なる全8講座から各生徒が選択して行います。今回はそのうち3つをご紹介します。

### 生物探究プロジェクト

「生物のかたち」をテーマに、広く生物について探究していくプロジェクトです。

〈テーマ例〉

- ・兎の種類による体毛の違いは、どのような環境や成分の違いによって生まれるのか
- ・なぜ、特定外来生物によって生き物のサイクルは壊されるのか？
- ・なぜ人間の指は5本なのか。
- ・シンバイザメはサメなのになんでプランクトンを食べるのか？
- ・鳥類の骨格の違いは何から生じるか

特徴は、1～3人の少人数の班が非常に多いことです(50人弱の講座ですので、20程度の班があることとなります)。身近な「生物」というテーマですので、それぞれが調べたいことがしっかりと確立されています。そのため、多人数よりは少数または1人でテーマを設定した方がテーマをより深められることでしょう。

課題は、「調査方法」です。それぞれが持っている問いは非常に深く良い問いですが、逆に言えば簡単に調べて終わるようなものではありません。何を調べれば良いのか、どうやって調べれば良いのか、時には自ら体や足を動かすことも必要になってきます。それらをご助言下さる大学の先生や大学院生の方とともに、きっと深めた問いを形にしてくれることでしょう。



班決めのため、全員のテーマを知る



大学教授の方から頂く金言

## 江戸東京野菜プロジェクト ～高倉ダイコン～

皆さんは、ここ八王子市高倉町に、世界でここにしかない野菜があるのをご存知ですか？

その名も「高倉ダイコン」、江戸東京野菜という、固定種とよばれる地域に固有の伝統野菜です。本プロジェクトでは、この高倉ダイコンにスポットを当てて、様々な角度から探究を深めていきます。

〈テーマ例〉

- ・高倉ダイコンを若い人たちに受け継いでもらうにはどうすれば良いか
- ・伝統野菜をたくさんの人に知ってもらい、買ってもらい、食べてもらうためにはどうしたらよいか
- ・消費者が求めている大根とは何か。
- ・高倉大根をより美味しく食べるにはどう料理すればいいか

「生産者」「栽培技術」「マーケティング」と多くの分野にまたがって考えなければならないこのプロジェクト、協力していただく方も農家の方・大学の農学部・農業関係の団体の方と多岐にわたっています。それらをうまく結び合わせ、魅力あるストーリーで語られる解決策を組み上げることができるのか…？乞うご期待！



「交配」と「品種改良」とは、何か



都市の農地についてご助言を頂く

## 英字新聞プロジェクト

「やることはただ一つ」という異色のプロジェクト。課された使命は「英字新聞を作れ」！？

各班はデスク、班長は編集長、プロジェクトの責任者＝総編集長。八王子東高校にまつわる事柄から始まり、気になることを取材し、そして記事を作れ、しかも…英語で。

実際の英字新聞編集長の方から頂いたアドバイスを基に、彼らは取材を進めることができるのか。

そして「Hachioji Higashi Times (仮称)」は完成するのか…？

気になる記事タイトルは、刊行までのお楽しみに！



デスク会議の様子



英字新聞編集長の方のお話